

初夏のモデルハウス見学は 毎日ハウジングへ!

毎日ハウジング
高槻住宅展示場
アクセス便利な国道171号沿い!



先着5名様
ご来場プレゼント
折りたたみ傘&
傘カバーギフト
セット

親骨 50cm
UVカット率 97%

POINT 1
高槻市唯一の
総合住宅展示場!

信頼の大手ハウスメーカーで、満足・納得の住まいづくりを実現していただけます。

POINT 2
等身大の程よい広さが
ちょうどいい!

リアルなサイズ感の敷地やプランなので、等身大の住まいを実感しながら、家づくりを検討できます。

POINT 3
無料駐車場完備!

モデルハウス近くに駐車場をご用意しております。ご家族お揃いでお越しください!

「家サイト」なら
モデルハウス見学の予約OK!
※モデルハウスは予約なしでも自由に見学できます。
混み合う休日もスムーズにご案内。
ストレスフリーな事前のご予約を!

家サイト 検索 <https://www.e-a-site.com/>

6棟の リアルサイズ モデルハウス公開中!

ぜひこの機会に、大手一流メーカー6社の
モデルハウスをご見学ください。



リアルサイズで実感しやすい総合住宅展示場 毎日ハウジング高槻住宅展示場

お問い合わせ ☎072-695-8960 〒569-1145 高槻市富田丘町12-3 <開場時間/10:00~18:00>

hebel 一条工務店 住友林業 セキスイハイム SEKISUI HOUSE Daiwa House

大阪医科大学 仁泉会ニュース

仁泉会ニュース 第50巻第4号
発行所
〒569-8686 高槻市大学町 2-7
電話 072-682-6166 FAX 072-682-6636
発行者 安藤 嗣彦 発行部数 6,100 部
URL <http://www.jinsenkai.net>

令和元年度 評議員会および総会が 開催されました





目次

P3	一般社団法人大阪医科大学仁泉会第12代理事長就任にあたり	安藤嗣彦（学20期）
P4	令和元年度 仁泉会総会 開催報告	
P16	平成31年度 大阪医科大学入学宣誓式	
P20	受章報告 大隈義彦先生（学9期）松原健先生（学12期） 清金公裕先生（学16期） お詫びと訂正	
	学会報告	
P21	第37回 日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会	寺田哲也（学41期）
P22	学23期生（昭和49年卒）同窓会および ゴルフコンペのお知らせ 支部日より	
P23	平成31年「仁泉会姫路（播州）地区総会・ 学術講演会」報告 クラス会日より	岡村信介（学23期）
P24	平成31年4月大阪医科大学三八会の報告	太田稔（学12期）
P27	庚申申久会（昭和55年卒）のご報告 仁泉ひろば	本田学（学29期）
P28	本学の手術件数	西村保（学4期）
P29	がん年齢（バレット食道腺がんの1症例）	島田真久（学14期）
P32	平成30年度大阪医科大学バスケットボール部 OB・OG会総会 瀧谷公隆（学38期）医学教育 センター専門教授就任をお祝いして	宮崎信一郎（学52期）
P33	平成11年会 同窓会のお知らせ	
P34	新聞切抜 大隈義彦先生（学9期）	
P35	新聞切抜 飯田稔先生（学18期）田中源重先生（学31期）	
P36	冊子切抜 熊野宏二先生（学39期） 役員交代	
P37	新聞切抜 原章二先生（学42期）	
P38	まんが 会員計報	かぜにポン太ック（学31期）
P39	編集後記	

一般社団法人大阪医科大学 仁泉会第12代理事長就任にあたり

学部20期 安藤嗣彦

この度、令和元年の仁泉会総会後の臨時理事会に於て、第12代の仁泉会理事長に就任いたしました。現会員5600余名、西日本で最も歴史のある医科大学の同窓会長の大役に身も引き締まる思いです。今後、全力を尽して任務を全うする所存でございます。会員の先生の御理解、御協力の程お願いいたします。



私と仁泉会の理事としての付き合いは長く、助手会選出の理事として昭和55年より2期、理事会に出席しました。その後、昭和63年に、神戸の父親の診療所を継承しましたが、平成5年より神戸支部選出の理事として復帰し、現在に至っています。この間、平成25年より副理事長を3期務めました。

所信を表明するにあたり、3期仁泉会理事長を務められた、前仁泉会理事長の河野公一先生に改めて、お礼申し上げます。先生の最大の功績は全国の仁泉会支部組織の再構築に尽力された事です。先生と二人三脚で全国を駆け巡った思い出が、今でも印象に残っています。

全国の私立医科大学の同窓会長は、現役の開業医の場合もあれば、同窓の現職の教授がその任に当たる事もあります。それぞれ一長一短はありますが、大学側と同窓会の間に信頼関係が構築されていれば問題ありません。大阪医大では、仁泉会の理事会には、大学理事長、学長先生を始め、教授会からも数名の先生が理事として出席されています。一方、大学の理事会にも、仁泉会から理事長、副理事長等4名が評議員として出席しています。

仁泉会理事のほとんどの先生は、忙しい診療に加え、地元の医師会の会長、理事、役員の肩書きを持っています。従って、会の運営にあたっては、全員野球の精神で臨む事が重要と考えますので、理事の先生方の御理解、御協力をお願いいたします。

仁泉会では、毎年の総会で、事業計画を会員に提示し、翌年の総会で、達成された事業内容を報告し

てまいりました。法人としての公益事業の中で、最も重要な事業は、奨学金の貸与事業です。この事業を運営する為の資金は、仁泉会基金です。仁泉会基金は先達の先生方が、同窓会会館建設を目的で、苦勞して積み立てたお金です。御存知のように、現在の医学部の競争率、偏差値は、他の学部と比較にならない位、高い状態が続いています。しかしながら、私立医大の入学金、授業料が、他の学部より断然高いのも事実です。最近サラリーマン家庭の受験者も増えていますが、これらの費用が負担で、入学を諦める優秀な受験生もいます。現在の私立医大では、優秀な学生を入学させる事で受験生も増え、大学の格が上がる事により、延いては病院経営にもよい影響が出るとの考え方もあります。大阪医大でも様々な奨学金を提示し、優秀な学生を誘っています。仁泉会が運営する奨学金貸与事業も、学生に好評である事も、御理解下さい。

さて、もう1つの大切な同窓会事業として、支部組織の強化があります。現在、大学入学者における近畿圏出身者の比率は、90%に近い状態です。この傾向は、今後も続く予想され、その対策としての、合同懇談会事業に御理解の程、お願いいたします。

仁泉会では年間5~6回の会報発行、4年に1回の名簿の作製を行い、全会員に発送しています。この事業は、全国の私立医大の同窓会からも絶賛されています。仁泉会報は会員なら誰でも気楽に投稿できます。クラス会の紹介や予告、クラブ紹介、会員の新聞記事等何でも可能です。ぜひ、御利用下さい。最近、郵送料が高騰し、財政を圧迫しています。現在会費納入率は50%を切っています。御協力の程、宜しくお願いいたします。

大阪医大では90周年事業としての、中央手術棟、BNCT棟、大阪薬科大学との法人合併事業が達成されました。100周年の記念事業として、新大学病院本館の工事も本年度より開始されます。この病院棟が完成する事により、本大学病院は、最先端のAI機器が導入され、検査や診断のみならず、事務処理の向上等によりゲノム医療にも対応できます。完成すれば西日本でも最も近代的な大学病院となる事でしょう。

最後に、大阪薬科大学との完全統合事業が2年後に達成されます。これを契機に、お互いの同窓会との交流が深まる事を望みます。交流が本部のみならず、支部会にも拡大する事を願って、私の所信表明とさせていただきます。

平成30年度事業報告書

1. 学術研究振興援助事業

平成30年度は申請が9件あり、それに対し助成を行い、機関紙仁泉会ニュースにて報告を行った。また母校の学術研究援助の為に、BNCT施設の運営法人である（一社）BNCT 関西医療センターの会費を支払った。

2. 奨学金貸与事業

平成30年度に採用された奨学生は6名であり、各々年額60万円の奨学金を貸与した。
貸与総額は38,617,000円である。

3. 本部諸事業に関する事項

1) 大阪医科大学への後援事業

- ①母校の募金活動の広報協力を行った。
- ②平成30年度卒業生の加藤翔平君に対して仁泉会理事長賞を授与した。
- ③母校の西医体活動に援助を行った。
- ④母校の学園祭に援助を行った。
- ⑤母校の活動報告として、学報及びOMCニュースを年4回全会員に向け発送した。
- ⑥母校の既卒者国家試験合格支援として、援助を行った。
- ⑦在学生に向けた「学生生活虎の巻」と題した講演会及び交流会を年2回行った。

2) 会員の福利厚生への事業

- ①会員の動向把握を行い、物故会員60名に対して供花料及び弔電を送った。
- ②会員相互の親睦交流を深める為に、平成30年度中に企画されたクラス会の開催について案内状発送事務の支援を行った。
- ③平成30年度の長寿会員に対して傘寿祝の記念品を贈呈した。
- ④岡山県豪雨災害にて診療不能の被災にあった会員1名に対しお見舞い金を送った。

3) 仁泉会組織強化に関する事業

- ①山口県在住の会員を対象に、地区懇談会を開催し情報交換を行った。
- ②支部会開催にあたり、案内発送等の事務支援を行った。
- ③本部支部間の連絡並びに学内の状況説明のた

め17回支部へ役員を派遣した。

4) 全国私立医科大学同窓会連絡会との連携事業

①第28回全国私立医科大学同窓会連絡会「西部会」に出席し、同窓会が抱える問題と解決法について協議を行った。

②第29回全国私立医科大学同窓会連絡会「全国会」に出席し、出席各校と情報交換を行った。

5) 広報事業

- ①機関紙「仁泉会ニュース」を年6回発行した。
- ②フェイスブック及びホームページにて、各種案内及び母校の情報提供を行った。

6) 会員に関する事項

①新入会員に関する事項
平成30年4月の入学生は112名、平成31年3月の卒業生は111名であり、平成30年度入会者は223名である。

②会員数に関する事項
平成31年3月末日現在の会員数は5,666名である。

③物故会員に関する事項
平成31年度に届出のあった物故会員は62名である。

④会費免除者に関する事項
平成30年度より会費免除となった会員は38名で平成31年3月末日現在の長寿会員（免除会員）数は566名である。

7) 役員及び会議に関する事項

①理事会役員に関する事項
平成31年3月末日現在の役員は次の通りである。

理事長1名、副理事長2名、常任理事7名、理事12名、監事2名、参与5名 合計29名

②会議に関する事項

平成30年度に開催した会議及び役員が出席した会議は次の通りである。

(1) 総会1回、評議員会1回、理事会5回、監事会1回。

(2) 第28回全国私立医科大学同窓会連絡会西部会及び第29回全国私立医科大学同窓会連絡会全国会に仁泉会役員が出席し同窓会活動について協議を行った。

(3) 支部会に17回に出席した。

以上

平成30年度収支決算書総括表

自平成30年4月1日～至平成31年3月31日決算 (単位 円)

科目	合計	一般会計	基金特別会計
I 収入の部			
基金収入	350,884	0	350,884
入会金収入	1,790,000	1,790,000	0
会費収入	22,420,000	22,420,000	0
学生会費収入		1,368,000	
寄付金収入	0	0	0
雑収入	3,569,051	3,568,814	237
奨学金返還金	6,859,000	0	6,859,000
繰入金収入	2,000,000	2,000,000	0
当期収入合計 (A)	38,356,935	31,146,814	7,210,121
前期繰越収支差額	30,207,914	11,965,580	18,242,334
収入合計 (B)	68,564,849	43,112,394	25,452,455
II 支出の部			
事業費	15,653,036	11,393,036	4,260,000
管理費	13,876,009	13,812,510	63,499
特定預金支出	1,000,479	1,000,479	0
繰入金支出	2,000,000	0	2,000,000
当期支出合計 (C)	32,529,524	26,206,025	6,323,499
当期収支差額 (A) - (C)	5,827,411	4,940,789	888,622
次期繰越収支差額 (B) - (C)	36,035,325	16,906,369	19,128,956



受章報告

令和元年春の叙勲におきまして下記の先生の受章が判明いたしました。
母校同窓会として慶事でありますので、ここにご報告させていただきます。

旭日双光章

学部9期 大隈義彦先生 保健衛生功勞 ※新聞切抜(P34)に関連記事掲載

瑞宝双光章

学部12期 松原 健先生 学校保健功勞

瑞宝小綬章

学部16期 清金公裕先生 教育研究功勞

各地で喜びの受章・受賞等あれば、事務局宛書面、新聞などをお送りくださるか、
原稿をお届ください。
本誌にて広く紹介させていただきます。

お詫びと訂正

令和元年5月1日発行仁泉会ニュース第50巻第3号の26ページ

「気になるあの場所・あの人に編集部がジャストミート！」の記事につきまして
先生のお名前に誤りがございました。大変申し訳ございません。

お詫びし訂正させていただきます

誤 神崎裕美子先生 → 正 神崎裕美子先生

学会報告

第37回

日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会

文責/寺田哲也(学41期)

会長：河田了(大阪医科大学 耳鼻咽喉科・
頭頸部外科学教室)

会期：平成31年2月7日(木)～9日(土)

会場：ホテル阪神

第37回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会
総会ならびに学術講演会を平成31年2月7日
(木)～9日(土)に大阪市のホテル阪神にて開
催させていただきました。本学会は日本耳鼻
咽喉科学会の分科会のなかで、最も基礎研究
を重視した学会で腫瘍から炎症まで、幅広い
基礎研究分野を含んでいます。

特別講演は京都大学ウイルス・再生医科学
研究所の河本宏教授にお願いしました。難解
な免疫の仕組み、または再生医療の未来につ
いてユーモアを交えながら分かり易く講演し
ていただきました。教育講演は、国立病院機
構相模原病院、臨床研究センターの海老澤元
宏先生にお願いしました。臨床医なら理解し
ておく必要のあるアナフィラキシー対策につ
いて、御自身が作成されたガイドラインに基
づいて詳しくご講演して下さいました。海老

澤先生は WAO (世界アレルギー協会) の次
期 President にご就任されるそうです。

シンポジウムでは、脂質メディエーターに
フォーカスしたセッションを組みました。

「アレルギー疾患における脂質メディエ
ーター研究の新展開」と題して、清水猛史教授(滋
賀医科大学)、岡野光博教授(国際医療福祉大
学)の司会で活発な討論が行われました。武
富芳隆先生(東京大学)による基調講演の後、
3人のシンポジストによる講演と活発な討論が
行われました。

Basic&Clinical Conference と名付け、基礎
研究者と臨床研究者のいわゆるディベートを
企画しました。発表時間はあえて短くしてい
ただき、十分な討論時間を設けることとしま
した。「頭頸部免疫療法」、「IgA 腎症」、「好酸
球性副鼻腔炎」、「アレルギー性鼻炎に対する
抗原特異的免疫療法」、「上咽頭癌」の5つを
取り上げたこの Conference から、これからの
研究の seeds が見つかったものと確信できま
した。

モーニングセミナー、イブニングセミナー、
ランチョンセミナー計7つを企画し、一般演
題として、口演49題、ポスター55題を頂戴しま
した。ポスター演題には、発表者全員に対し
てポスター下部に「独り言欄」を設けること
にし、自由につぶやいていただきましたが、
Witに富んだものが沢山あり、その中で特に
優れた独り言を懇親会の場で表彰いたしまし



本学会のスタッフ

また、次回開催が近づきましたらご案内させていただきます。

参加者（敬称略）

河野公一 理事長（学21期）

黒岩敏彦 教授（学28期）

段 武夫（学6期）吉田繁一（学14期）

松岡伸二（学19期）岡村信介（学23期）

吉田悌三郎（学27期）田村 亮（学28期）

宮本茂好（学29期）薄木洋明（学37期）

植木 健（学38期）辰巳嘉章（学46期）

広田千賀（学54期）



クラス会だより

平成31年4月 大阪医科大学三八会の報告

文責／太田 稔（学12期）

平成31年の終わりに近い4月13日、38会の皆さん14人同伴のご夫人方共に22人が集まりました。集まってくださったのは80歳を超す御年の方々の会でありました。今回の目的地は淡路島のホテルで、懐石料理の食事を味わいながらの、同窓仲間での語り合いのひと時を求める会合でした。神戸三宮に大型バスが待っていて、京都、高槻、からの8人のグループが乗り、異常冷気象に見舞われていつもより遅い桜並木のある新神戸駅前まで更に8人が合流して淡路島に向かって神戸の市街を抜けて淡路島への高速道路に入り明石海峡を渡り、淡路島を縦断する道路をひた走りに進み予定の時刻にホテルニューアワジ・ヴィラ楽園の前に着きました。到着するや各自の部屋に案内されました。それ

ぞれゆったりとした寝室とリビングの付いた部屋で海を見渡すことの出来る個室露天風呂がありました。

大浴場での入浴を楽しんだ先生も宴会場に集まり集合写真を済ませて宴会に移りました。平野先生の司会で始まり、西村先生から歓迎の言葉が述べられました。続いて昨年4月に亡くなった三村先生のご冥福を祈って黙祷を捧げました。京都の会合での三村先生のお姿と独特の語り口を懐かしく思い出されます。1965年昭和38年に卒業した62名の同級生が55年の間に判明しているだけでも33名が鬼籍に入られました。その他音信不通で連絡の取れない方は8名です。京都の内田先生から闘病中の加藤一博先生の現況について話されました。続いて大学の状況と将来について、私達の同級生の中で最も長く大学に関わり続けて、今も元気に活躍され大阪医科大学理事長を務めておられる植木實先生から大学の膨大な事業予定と大学周辺の環境整備の様相について説明がなされました。

最近に建設された病院の7号館と中央手術棟を残して他の病棟の全ての建て替え工事業の

計画で、従来からの病棟を逐次解体と建築を繰り返し現存の機能を損なうことなく進めるとの工法が採用され、工事開始は2019年5月末からで、全てが終わるのが2027年3月、総工費400億円の壮大な建築計画です。病院棟はA棟とB棟に別れ、それぞれ12階建てのもので、現在の建物より5階高くしたものです。それ以上の高さは消防法など規制にかかり無理だそうです。完成が2027年ですから7年先になり、完成を見ることが出来る時まで生きて居られるだろうかと思えるような、しかし希望のある話がありました。大阪府三島救命救急センターを建築計画の病院新本館A病棟の中に移設する予定であること、更に高槻中学校、高槻高校の全面整備事業は2020年4月で完成予定とのことでした。会計報告が丸山優子先生からされ、今回までの収入、支出、と現在の残高について承認されました。ご自身を含めて高齢者の域に入り、今後の会の運営を心配するようになった、とのことでした。来年の会合の場所の候補として熱海が提案されました。内田先生から年齢からし

て出来るだけ近くのところをお願いしたいとの提案がありました。貴重なご意見でした。

ホテルの懐石料理が次々と運ばれ、淡路島の色合いを出したものでした。筆者の舌には少し濃い目の味でした。一年振りに会合は植木先生をはじめ今も現役でいる丸山、内田、秋岡先生などの感心な話、愚痴の数々などに宴会の時間が過ぎました。会の最後に四国から皆勤参加の大西先生が来年もお互いに命を永らえてお目にかかることが出来るように頑張りましょうの励ましの言葉で締めくくりました。

二次会は11階に部屋がありました。紅茶のサービスがありましたが、夕陽の中に海に向かって並べられたソファに座って談笑のための部屋のような感じでした。午後9時を過ぎた海は遠い友が島の影と漆黒の静かな海原でした。そこそこに各自のお部屋に引き上げられました。翌日は午前10時の出発の予定で、それまでは朝食と、身支度などの時間にゆとりがありました。予定では植物館などの淡路島夢舞台に行くつもりでした。雨模様の予想はテレビで知らされて



後列左から 森上さん、奥、西村夫人、梶川夫人、西村、大崎
中列左から 大崎夫人、奥夫人、山本、内田夫人、植木夫人、平野夫人、平野、古谷、大西夫人
前列左から 秋岡、丸山優子、太田、植木、大西、丸山俊郎、内田、梶川

いましたがバスが進むにつれて本降りの模様となり急遽中止をして土産物店の野島スコラに立ち寄ってその後イタリアンランチのお店に向かいました。4月の第二週末の頃は雨のよく降る時期なのでしょうか、4年前の京都の時も雨の中、東山の栗田山荘から京都ホテルにたどり着いたこと、昨年静岡の翌日も雨で予定を変更したのを思い出しました。それとも雨男か、雨女がいたのでしょうか？

昼食はイタリアンと知らされていましたが店は、古い小学校の校舎を改装してレストラン風にしたものでした。建物を囲むように窓際に濃い赤色のベゴニアの鉢が並べられイタリア風の雰囲気を出していました。余りにも鮮やかな色のベゴニアの鉢を後で造花と知らされ、聞かなかった方がよかったかも知れなかった気分が残りに、人生の中でそのようなことがあるものですね、ここでも淡路の特産物、淡路サクラマス、淡路牛ヒレなど、いい味でありました。食事の合間に、現在の医療保険制度の複雑さに悲嘆や驚きの感想を話し合い、生き抜く道を語り合いました。

今年西暦2019年で平成31年が平成最後の年であると世間の話題になっております。私達38会の集まりのグルメの旅も今回で32回目となりました。報告書を書いている横のテレビで皇位継承のニュースを放映しています。皇位継承によって元号の改元がされるわけで、元号の改元は古代中国の皇帝の時から始まった、と言われるものですが、日本では歴代の天皇の代替わり、慶事、天災、戦乱、などの際にされて来た歴史があります。明治以後は天皇の世代交代の節目に行われるとの取り決めで元号の改名が行われて来ました。明治に制定された大日本帝国憲法には天皇の神格化を目指す手段として、万世一系の天皇が統治する者としての第一条がありましたが、終戦後の新憲法には天皇は国民の象徴の存在になりました。しかし国歌は旧態の歌詞のままで過ごされているなど悩ましいことは残されています。今回の改元は平成の時に幾度も発生した災害の地を訪れる旅や、昭和天

皇の時の戦争禍についての贖罪の旅に暮れた天皇とも言われた明仁天皇の生前退位の意味によって行われる譲位（退位）即位の儀式によるものであり、皇室典礼の特例によるものに位置します。儀礼は極めて宗教色を帯びたものであり、国民の象徴天皇の立場を微妙な姿を示す行事であります。改元の儀が歴史的な変革に思いか否かは個人の思惑によるのですが天皇への近接を臨む姿をひと際強く描き出そうとする多くのメディアの姿は、先の大戦中に天皇の神格化を計り国民の眼を逸らし続けた政治と強制され続け国民を欺く手段に使われたメディアの姿を思い出したのは筆者の妄想でしょうか？

そんなこ難しいことを抜きにして、天皇の退位、即位の礼と合わさって改元された令和の時の到来を迎えて、これまでのわが国が戦争もなく平和に過ごせた平成の30余年を喜び、令和の未来の時代が平和に続く希望を心に抱いて全国のあちこちの場所に新しい日の出を迎えようと沢山の人の集まりが見られ、恰も新年の朝を迎えるに似た光景であります。しかしながら昭和、平成の時の多くの出来事は終わりではなくそれぞれの課題を残して続いていることを忘れないでいたいものです。イタリアンの店でゆっくりと時を過ごした後、バスに乗り込み神戸への帰路に着き、新神戸駅、三宮駅の前でそれぞれ来年の再会を願って別れました。

今回の出席の方々は、秋岡 壽、植木 實夫妻、内田 実夫妻、大崎 洲夫妻、大西正則夫妻、奥 日出一夫妻、太田 稔、梶川健造夫妻、西村道也夫妻、平野勝彦夫妻、古谷幸夫、丸山俊郎、丸山優子、山本哲也
22名（アイウエオ順）



クラス会だより

庚申仁久会(昭和55年卒)のご報告

文責／本田 学（学29期）

去る平成30年10月6日（土）午後6時から学29期生の同窓会がホテル阪急インターナショナルの「瑞鳥の間」で開催されました。出席会員27名に加えて、故小橋二郎君の奥様の小橋 光様が、「夫が生前親しくお付き合いさせていただいた同窓生の皆様にお礼を申し上げたい」とのことで、小橋君の遺影を持参して出席されました。

まず全員でこれまでの物故者の冥福を祈って黙祷を捧げたのち、幹事の橋本和明君による乾杯の音頭で宴会に移りました。宴の中ほどで、学校法人大阪医科薬科大学の常務理事である佐野浩一君から、我々が卒業した後の母校の歩みと現状、また今後の展望についてスライドを交えて講演して頂きました。

続いて恒例の出席者ひとり一人による近況報告に移りました。今回は卒業アルバムからとった卒業当時の写真をスライドにして映し出すと

いう趣向で、同窓会出欠の返事が遅かった方から順にステージに上がって頂いて、ご自分の卒業当時の面影を背景にして近況を報告してもらいました。

何人かの同窓生は子供さんやお孫さんたちと一緒に映った微笑ましいスライドを披露してくれました。谷 康平先生は「写真ではなく実物の娘を」と、ご同伴頂いた愛娘の秀真（ほつな）さん（高校1年生）をステージに招いて紹介されました。

楽しいスピーチと歓談のうちに予定された2時間半が過ぎてしまい、次回は2年後の2020年に卒業40周年記念となる同窓会を開催すること、幹事は今回に引き続いて中張隆司君にお願いすること、を決めて一次会はお開きとなりました。

二次会には22人が参加し、同ホテル内のバー「ケレス」に移動してグラスを傾けながら思い思いに懐かしい昔の思い出や近況について語り合い、遅くまで楽しい時間を過ごした後、2年後の再会を約束して散会となりました。



仁泉ひろば

jinsen-park

本学の手術件数

文責／西村 保（学4期）

週刊朝日 MOOK 発刊の「手術数でわかるいい病院」という雑誌があり、今年も去る3月に発売された。

この雑誌は、朝日新聞社が総力をあげて全国の6873病院の手術件数を独自に調査して、全国と地方別にランキングしている。

数年前の「仁泉会ニュース」にこの雑誌から引用した「全国レベルで見た本学の手術件数」と題した私の文章が掲載された。それ以来、私は毎回テーマを変え、現在は「歴史を彩った女性達」と題するシリーズ物を掲載しているが、今回は久しぶりに本学の手術件数とランキングを本誌から抜粋して報告する。

〈肺がん〉

本学は185例で全国ランキング40病院中で34位である。近畿では6位である。

〈食道がん〉

本学は30例で全国ランキング40病院中には入っていない。近畿では10位である。

〈肝胆膵がん〉

本学は185例で全国ランキング40病院中23位である。近畿では5位である。

〈胃がん〉

本学は161例で全国ランキング40病院中13位である。近畿では2位である。

〈大腸がん〉

本学は457例で全国ランキング40病院中3位である。近畿では堂々の1位である。

〈前立腺がん〉

本学は138例で全国ランキング40病院中には入っていないが近畿では8位である。

〈腎がん〉

本学は71例で全国ランキング40病院中には入っていないが近畿では4位である。

〈子宮・卵巣がん〉

本学は202例で全国ランキング40病院中11

位で近畿では3位である。

〈頭頸部がん〉

本学は128例で全国ランキング40病院中29位である。近畿では6位である。

〈乳がん〉

本学は287例で全国ランキング40病院中には入っていないが近畿では5位である。

〈甲状腺がん〉

全国ランキング40病院に入っていない。近畿の記載はない。

〈がん放射線治療〉

本学は905例で近畿では3位である。全国ランキング40病院は記載されていない。

〈がん薬物治療〉

本学は83例で近畿では6位である。全国ランキングは記載されていない。

がん以外の手術

〈心臓手術〉

本学は237例で近畿では12位である。全国ランキングは記載されていない。

〈脳動脈瘤手術〉

本学は72例で全国ランキング40病院中には入っていない。近畿では13位である。

〈眼の手術〉

本学は495例で全国ランキング40病院中には入っていない。近畿では10位である。

〈難聴治療〉

本学は84例で近畿では11位である。全国ランキング40病院は記載されていない。

手術には外科医以外に、それを支えるパラメディカルスタッフが必須不可欠である。

〈麻酔医〉

本学は34名で記載されている大阪の9病院中ではトップである。

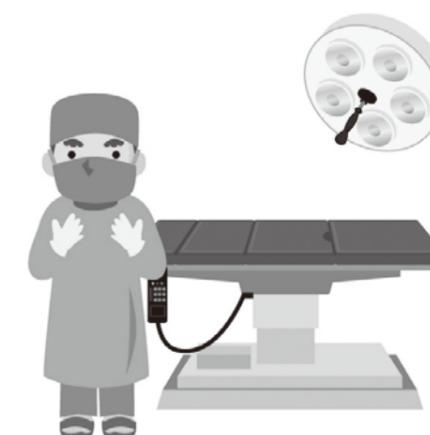
〈病理医〉

本学は11名で記載されている大阪の4病院中ではトップである。

放射線科医についての記載はない。

がん診療連携拠点病院でセカンドオピニオンの相談実績は274件で記載されている大阪8病院中2位である。

以上、通覧すると本学は私立の医科大学としてはなかなか「エエセンイッテイル」やないかというのが正直な感想である。特に消化器系、婦人科系の手術は全国的であるのは喜ばしい。手術件数が多いのがイコールいい病院とは云えないが手術件数が多い病院は治癒実績も良好であるのは事実である。従って、特にがん手術のような命を賭けた手術を受けるのであるから、それに選ばれるのは治癒実績のある病院、つまり、いい病院と云うことになるのである。



仁泉ひろば

jinsen-park

がん年齢

(バレット食道腺がんの1症例)

文責／島田真久（学14期、78歳）

日本は、人口の4人に1人が65歳以上という超高齢者社会を迎えて、厚労省の統計によれば今や一生の内2人に1人が「がん」と言う時代である。年間100万人が毎年がんになっているそうだ。がん年齢はいつごろかといえは、何歳ごろという明確な定義はないわけであるが、がんの最大危険因子は加齢ということになるので、一般には、50～60歳以降ということになるかと思われる。加齢により、約30億ある遺伝子の内、年間8～10個ぐらいがDNAのコピー時にエラーを起こし遺伝子変異として蓄積されてやがて「がん化」と言う。従って、細胞分裂回数の多い上皮細胞ががんになり易いことになる。私の場合は、母親が、49歳の時、胆管がんで、父親は79歳の時喉頭がんで亡くなっているから、何れも上皮細胞からの「がん」と言うことになる。

私自身ががん年齢に達したと感じたのは、2年前、定期検診の時に便の潜血反応が陽性に出たので、7年前に同じ潜血反応が陽性で大腸ファイバーで2個のポリープが見つかりそのまま内視鏡で除去術を受けたので、またかと思い、大腸ファイバー検査でいずれも3mm以下の3

個のポリープが見つかり、そのうちの一番小さな1mmのポリープが初期がんであったがすでにEMRで摘出したあとなので事なきを得た時である。

平成31年3月15日毎年定期検診を依頼している医院で、大腸ファイバー、胃カメラ検査を受けた。3年前からバレット食道の指摘を受けていたが、今回はその内の1時方向に一部小さな出血痕が見つかりその部の生検となる。それまで、胸焼けとか、瞭下のときに物が胸の辺りにつかえるような症状は全くなかったので、安心していましたが、26日、I先生より「えらい物が見つかってしまいました。生検より腺がんでした」とのメールを受け取る。「初期の物と思われませんが、これより先は大きな病院での検査をお勧めします」とのことであった。一般には、食道がんの95%は、食道の大部分を覆っている扁平上皮由来のものであり、バレット食道から腺ガンになるのは2%以下と言われているが、がんになった本人にとっては、「がんは、統計や確率でかたづく問題ではないなあ」とつくづく思った。

27日に母校消化器内科への紹介状をもらい、28日に受診、直ちにリンパ節転移の有無を調べるため食道の造影CTと胃カメラ検査を受ける。転移はないようであるとのことで、4月17日入院。18日に内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)の予定で、入院は1週間と決まる。

4月17日(水)、入院第1日目、晴れ。ESDを

予定通り明日1時頃より開始で3時ごろには終わりますと言われる。今回のがんの進行状態について伺うと、バレット腺がんは内視鏡的には浅いように見えても深い場合もあるので、がん細胞が粘膜内にとどまっているステージ0では無く、粘膜固有層にも進出している可能性のあるステージ1とのことであった。

4月18日(木)、ESD術当日、晴れ、体温36.3℃。洗面後、起床時に高血圧薬とタケキャップ20mg1錠を服用し以後は絶飲状態。術前の点滴開始、ソルデム3A500ml+カルバゾクロム50mg+トランサミン10%1A、生食100ml+タケプロン30mg。消化器内視鏡センターへ移動後、術前に際して前額部に脳波の電極を付けられる。静脈麻酔による術中の睡眠の深さを測定するためと思われる。お陰で間も無く意識がなくなり、周りがざわつくのに気がつくとすべてが終わっていた。術後の点滴、ソルデム3A500ml+生食100ml+タケプロン30mg。病棟に帰ると、家族が見舞いにきていた。予定より15分ほど早く終わり、ESDだけだと40分ほどであったとのこと。1cmほどの病巣は少し広めに噴門部の粘膜下固有層を1時の方向を中心に約半周除去しましたとの話を聞く。喉から食道にかけて違和感を感じる。胃カメラの挿入による圧迫の影響と思われる。

4月19日(金)、術後1日目、晴れ後曇り、体温36.8℃。点滴ソルデム3A500ml+カルバゾクロム50mg+トランサミン10%1A、(生食100ml+タケプロン30mg)×2。午前中に、食道や肺に異常がないかの胸部X線単純撮影と昨日の剥離部が止血しているか確認のため、再度、胃カメラ検査を受ける。結果は完全に止血していましたがとのこと。起床時の高血圧薬の服用以外は、絶飲、絶食。胃カメラ施行後50分で飲水は可能となる。血液検査では、絶食しているため、総蛋白6.4g/dIL(昨日は、6.9)、アルブミン3.6g/dL(昨日は、4.1)と正直に少し下がっており、また、昨日の粘膜剥離により血清アミラーゼ値が154U/Lと少し上昇(昨日は、63U/L)、剥離術による炎症のためCRPが

0.61mg/dL(昨日は、0.09mg/dL)、好中球77.2%(昨日は、53.3%)、好中球数5473/ μ L(昨日1967/ μ L)と少し上昇した以外は目立った変化は無かった。主治医より、後遺症として、一ヶ月後ぐらいに傷が治る過程で周囲の組織を引っ張ることにより術部が狭窄し、飲食時物がつかえる感じがする場合がある。狭窄が強い場合は、バルーンを挿入して膨らますことになる。また、半年に1回ほど転移の有無の確認のため造影CT検査が必要であるとの話を聞く。退院後の5月24日に、再度、胃カメラ検査と剥離した切片の病理組織結果説明のための受診予定が組まれた。

4月20日(土)、術後2日目、晴れ、体温36.4℃。点滴(ソルデム3A500ml+生食100ml+タケプロン30mg)×2。絶食2.5日後、初めての昼食の食事は、潰瘍食(軟)で、5分粥。絶食後の便はまだ出ず。夕方、孫達が見舞いに来る。京都芸大2年生の孫娘は、入院後、1日ごとに草花の絵をハガキに描いて持ってきている。たとえば、入院後1日目、コンクリートの間から顔を出す草花に魅力を感じます。草花の生命力を見ると、私も頑張らないと思います。じいじも頑張れ!!!。退院まであと5日、柚子の花言葉は健康。いつまでも健康で頑張ってください、など。家族の見舞い直前に、やっと点滴の抜管があり、身軽になる。初めてシャワーを浴びる。夕食も潰瘍食(軟)で、喉の違和感はあるが痛みとか狭窄感はない。夜に難産のすえ、親指大の排便あり。黒色便が出るものと思ったが、意外と色は普通で、ナースを呼んで確認してもらう。術者がよほど上手だったと見えて意外と、粘膜剥離による出血はほとんどなかった様である。

4月21日(日)、術後3日目、薄曇り、体温36.3℃。朝食、昼食は相変わらず、潰瘍食(軟)で、5分粥。午後に再度家族が見舞いにやってきた。京都は、気温が37℃でまさに夏日とのことである。昨日と同様1階のドトールで皆はコーヒーとケーキを注文したが、私は水だけ。夕食は、また、潰瘍食(軟)で、5分粥。気がつけば、喉から食道にかけての違和感は全く消失してい

た。Drより、順調に回復している様なので予定通り、水曜日が退院予定となりますとの話あり。

4月22日(月)、術後4日目、薄曇り、体温36.5℃。早朝、採血あり。朝食は、潰瘍食で軟の文字が消えていたが、全粥。時間があつたので昨日にファミマで購入しておいた洗剤を使って洗濯をする。洗剤は入院患者に便利な様に1回分が小袋に分かれており大変使いやすかった。午前中、暇があるので久しぶりに仁泉会事務局を訪ね、来月に帝国ホテルで行われる36会(同窓会)の参加者と観光組(私の担当で海遊館に行こうと計画している)の確認をする。ついでに、「入院中のことを記事にしているので、仁泉会ニュースに投稿した時はよろしく頼む」と依頼する。主治医より、早朝の血液検査のデータを受け取る。特に、異常はないようである。少し上昇していた血清アミラーゼ値は、48U/Lと正常値に戻っていた。CRPは、1.08mg/dLと少し高値であったが、好中球は、56.9%、好中球数は、2282/ μ Lと正常値に戻っていたので、CRPは、少し遅れて反応している様である。昼食は、潰瘍食で、全粥。外気温は、27.6℃で外を少し散歩しても汗ばみ、もう夏である。夕方、初めての入浴となり、久しぶりにさっぱりとする。夕食も潰瘍食で、全粥。主治医の訪問があり、再出血は、一週間以内に起こることが多いので、入院が一週間になりましたとの説明を受ける。3年前の腰部脊柱管狭窄症術後の時は、リハビリに頑張りましたが、今回は腹が減って頑張りがいがないと言うと、食事は消化管疾患のリハビリになりますとのこと。普通食に戻るの退院の日らしい。つまり、明日も全粥と言うことになる。骨格筋は鍛えられるが、平滑筋や腺上皮は鍛えられないのが辛い。

4月23日(火)、術後5日目、晴れ後曇り、体温36.6℃。朝食は、潰瘍食。潰瘍食(軟)にしても、単なる潰瘍食にしても共通しているのは、いずれも塩分控えめで、味が大変薄い。老健こもれびの高齢者用の検食もかなり味が薄いので、検食簿にいつも味が薄いと書くが高齢者用ということでもいつも却下されている。しか

し、潰瘍食はそれ以上に薄い。だからと言って、塩を足したり、振り掛けをかけたり、醤油をかけたり出来ないのが辛いところ。食のリハビリという事で我慢・我慢。午前中にDrの訪問を受ける。明日早朝にもう一度採血してその結果を見て10時頃に退院となる予定。昼食は、潰瘍食も全粥。

4月24日(水)、術後6日目、入院して丁度7日目、雨、早朝に採血あり。朝食は普通食、ただし潰瘍食。午前中に丁度3年前に腰部脊柱管狭窄症の手術を受けた定期受診日であったので、X線単純撮影とCT撮影後受診、術部の椎体間が完全に骨化しているのを確認され、治療は完結しましたとお墨付きを頂いて、退院となる。入院中の副産物として、体重が5kg減、禁酒と超薄味の減塩食により、それまで、150~160/90mmHgであった血圧が、117~120/70mmHgと別人のようになっていた。「令和」の元号を来週に迎える平成最後の週であった。

一ヶ月後

5月24日(金)、快晴、真夏日。退院後、初受診目。退院後、普通食に戻り、ラーメンも食するようになったが、血圧もあつと言う間に、もとに戻ってしまった。恐るべし塩分。9:00より、内視鏡を受けた後、消化器内科にて、今までの結果を聞く。剥離した後は完全に修復されており完治していたが、病理組織で一部、低未分化癌が見つかり、リンパ組織への転移のリスクがある状態なので、追加治療を考えたほうが良いとのコメントで、次回、消化器外科受診の予定を6月15日(土)とした。

つづく



まんが38

壁ドン失敗例

かぜにボン太ック (学31期)



本部だより

会員訃報

次の会員が亡くなりました。慎んでご冥福をお祈り致します。

事務局編集係

高医 18 期 田中洋一先生
 平成 29 年 1 月 27 日ご逝去 (92 歳)。
 昭和 24 年卒。
 寝屋川市にて内科を開業されました。

高医 20 期 石井 奏先生
 平成 30 年 12 月 7 日肺炎の為ご逝去 (90 歳)。
 昭和 26 年卒。
 国立京都病院麻酔科部長、中央手術部部長、国立療養所比良病院院長、武田病院理事、山鳥病院理事をお務めになられ、地域医療に尽力されました。平成 18 年秋の叙勲にて瑞宝中綬章を受章されました。
 ご遺族 長男 和人様

学部 7 期 山口清三先生
 平成 30 年 10 月 22 日急性心筋梗塞の為ご逝去 (88 歳)。昭和 33 年卒。
 昭和 29 年に京都薬科大学を卒業されました。母校卒業後、大阪日生病院にてインターンをされ、翌年大阪大学微生物病研究所附属病院内科に入局されました。昭和 38 年より大阪成人病センター内視鏡室でのご勤務を経て、昭和 46 年 2 月に京都市にて山口内科医院をご開業になり、平成 18 年 10 月に閉院されるまでのながきに亘り、地域医療に貢献されました。
 ご遺族 妻 千代子様

学部 11 期 廣谷幸一先生
 平成 30 年 12 月 25 日胃がんの為ご逝去 (82 歳)。
 昭和 37 年卒。
 卒業後、和歌山日赤病院内科、大阪労災病院小児科でのご勤務を経て、南河内郡河南町に広谷医院を開設され、地域医療の為に尽力されておられました。
 ご遺族 妻 喜美子様

編集後記

今月号には、母校入学式での模様、ご挨拶を掲載しました。入学式が執り行われた4月3日はまだ平成でしたが、5月1日より年号が令和に変わりました。令和時代初の新入生諸君が立派な医療人に育ってゆかれることを期待いたします。

5月26日の仁泉会総会において、役員改選がおこなわれ、同日の臨時理事会で安藤嗣彦先生(学20期)が新理事長に選出されました。就任ご挨拶が3ページに掲載されています。安藤先生はながらく副理事長をおつとめになり、河野

前理事長先生が進められた、母校から離れた地区をふくめた各支部活動の再編成、活性化もサポートしてこられました。引き続き、仁泉会の活性化に指導力を発揮して下さるものと考えております。

令和になり、仁泉会も新体制となりましたが仁泉会ニュースは変わらず、母校、各支部、クラス会などの情報を先生方に伝えてまいります。皆様方からのご投稿が頼りですので、ぜひご協力、ご支援をお願いいたします。(治)

編集部より

会費納入のお願い

年会費
 令和元年度 10,000円
 平成30年度 10,000円
 平成29年度 10,000円
 納入のご協力をよろしくお願い致します。

事務局 会計係

原稿募集のお知らせ

仁泉会ニュースの原稿を募集しております。日々の診療で感じられた事、研究報告、趣味のお話やクラス会や支部会のご報告なんでも結構です。

ご投稿お待ちしております。

- 50巻5号(令和元年9月1日発行)

締切 令和元年7月末日

- 50巻6号(令和元年11月1日発行)

締切 令和元年9月末日

- 送付先：仁泉会事務局 〒569-8686 高槻市大学町2-7

E-mail : jimuj@jinsenkai.net FAX : 072-682-6636

メディア掲載・書籍発行の際は編集部にお知らせください

テレビ、ラジオ、新聞などのメディアにご掲載になられた会員諸先生方がおられましたら掲載された原本を同封のうえ、事務局までお送りください。(自薦・他薦は問いません)

支部会・クラス会開催にあたって

支部会・クラス会開催にあたり、ご案内発送や出欠の集計等を仁泉会事務局にてお手伝いさせていただきます。お気軽にご相談ください。

仁泉会事務局 TEL / 072-682-6166 FAX / 072-682-6636
 e-mail / jimuj@jinsenkai.net